

北海道利尻高等学校

教頭 佐々木 義 人

1 本校の概要

本校は、昭和三二年に町立高等学校校定時制水産科として開校し、現在は普通科一間口、商業科一間口の併置校として六二年目を迎えます。

様々な社会的変化の中で、「醇風剛健」の校訓の下、「常に努力し、意欲を持って生活を切り拓く人」、「たくましい体とゆたかな心をもつ人」、「ひたいに汗し、協力して働く人」を目標として創意あふれる教育活動を推進しています。



本校の Web ページの表紙を飾る利尻山

2 特色ある教育活動

利尻高校の教育活動の根幹とも言える「ふるさと教育」は、昭和六三年から始まりました。

当初は、標高一七一二メートルの利尻岳への「全校登山」、五三・五キロメートルを踏破する「全島一周強歩遠足」、礼文島からふるさと利尻を望む「礼文島トレッキング」の三つの活動を、三年間かけて全て体験する取組として始まりました。その後、様々な変遷を辿りながら、これまでの利尻高校が伝統としてき

た自然体験を中心とした内容に再構築し、九つの分野からなる新たな「ふるさと教育」がスタートしました。

ここで、いくつかの取組を紹介します。

(一) 全島一周（六月）

利尻富士町が主催する「悠々覧人G（ゆうゆうらんじんぐ）」（約五四キロ）に全校生徒が参加します。また、高校独自のコース（約一四キロ）を設定しており、生徒は制限時間内の完走を目指します。



スタート前の生徒の様子

(二) 利尻山登山（七月）

利尻山岳イベント実行委員会が主催する利尻山ハイスクールに生徒は任意で参加します。今年は全校生徒七一名に対し、四七名の生徒がエントリーし、ほとんどが登頂しました。



利尻山山頂での記念写真

(三) ふるさと貢献

地域行事への参加やボ



「花いっぱい運動」での記念写真

ランティア活動を通じて地域への貢献に取り組む活動です。対象となる行事は、年間を通して三五程度の活動があります。



クルーズ船（日本丸）の見送りの様子

また、顕彰として、いづれかの分野で一定の基準を満たし、認定された生徒は卒業式で表彰されます。

3 PTA活動の取組

年間を通して様々な活動が行われています。特に生徒と一緒に取り組む校外活動は数多く行われており、五月に行われる「花いっぱい運動」は地域への奉仕活動として実施しています。また、祭典巡視や清掃活動等があります。校内活動では、全島一周や利尻山登山への支援、全校かるた大会等、参加している保護者の方々も生徒と一緒に楽しみながら参加しているのが、本校PTA活動の特徴となっています。